

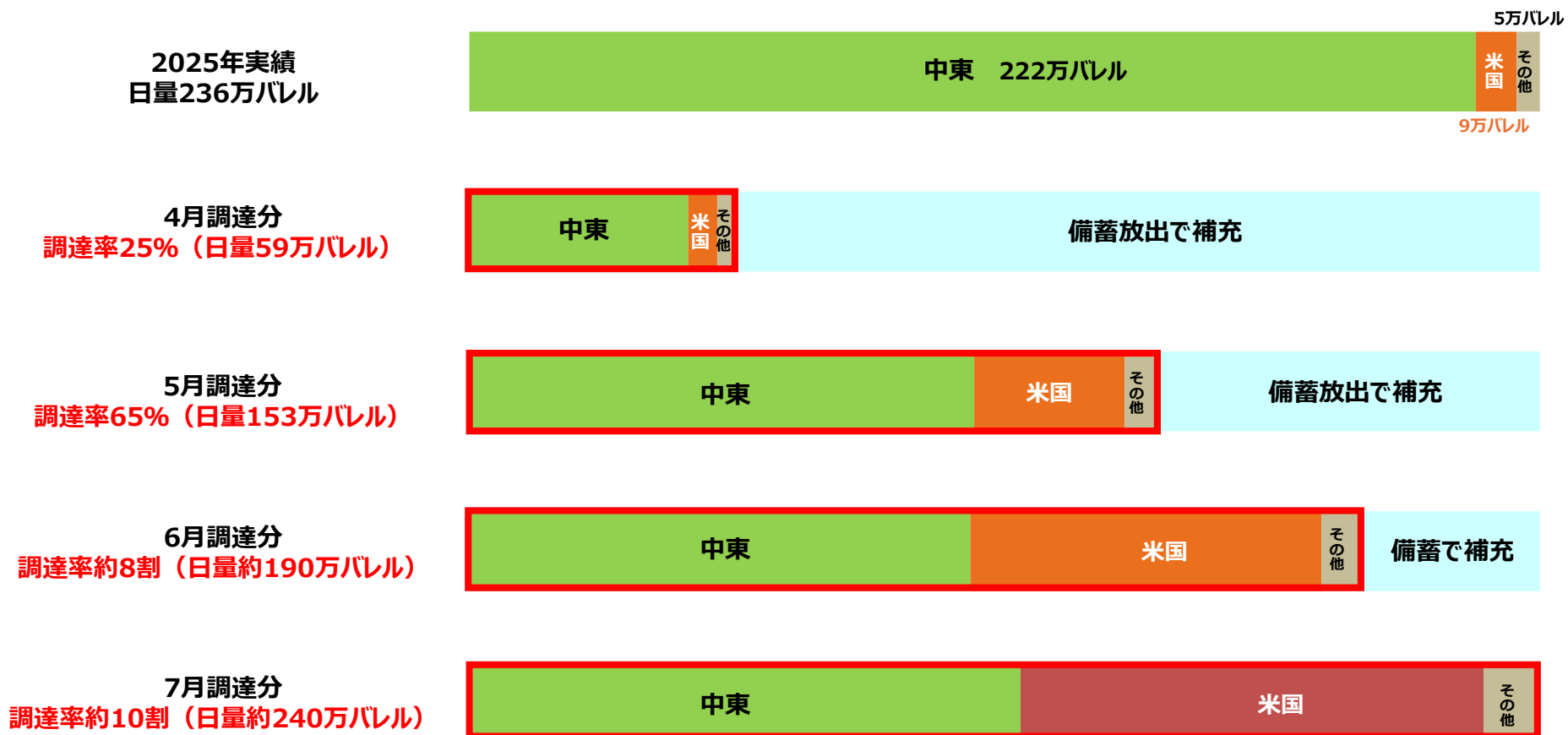
# 中東情勢を踏まえた燃料油・石油製品の安定供給確保及び 重要物資の安定的な供給確保の対応状況

令和8年6月

経済産業省

# 原油調達の動向

- ホルムズ海峡を經由しない代替調達に官民連携の下、最大限取り組んでおり、中東や米国に加え、アジア太平洋、中南米、中央アジア、アフリカ等からも原油が届くなど、原油の調達先の多角化が進展。
- **6月**は、現時点で、前年平月比で**8割程度の調達が実現**できる見通し。**7月**については、**想定される今年の需要日量224万バレルを上回り、前年平月比で約10割の調達への回復に目途**が立ったところ。特に、**米国からは前年平月比で10倍以上（5月調達分から3倍以上）**が調達できる見通し。



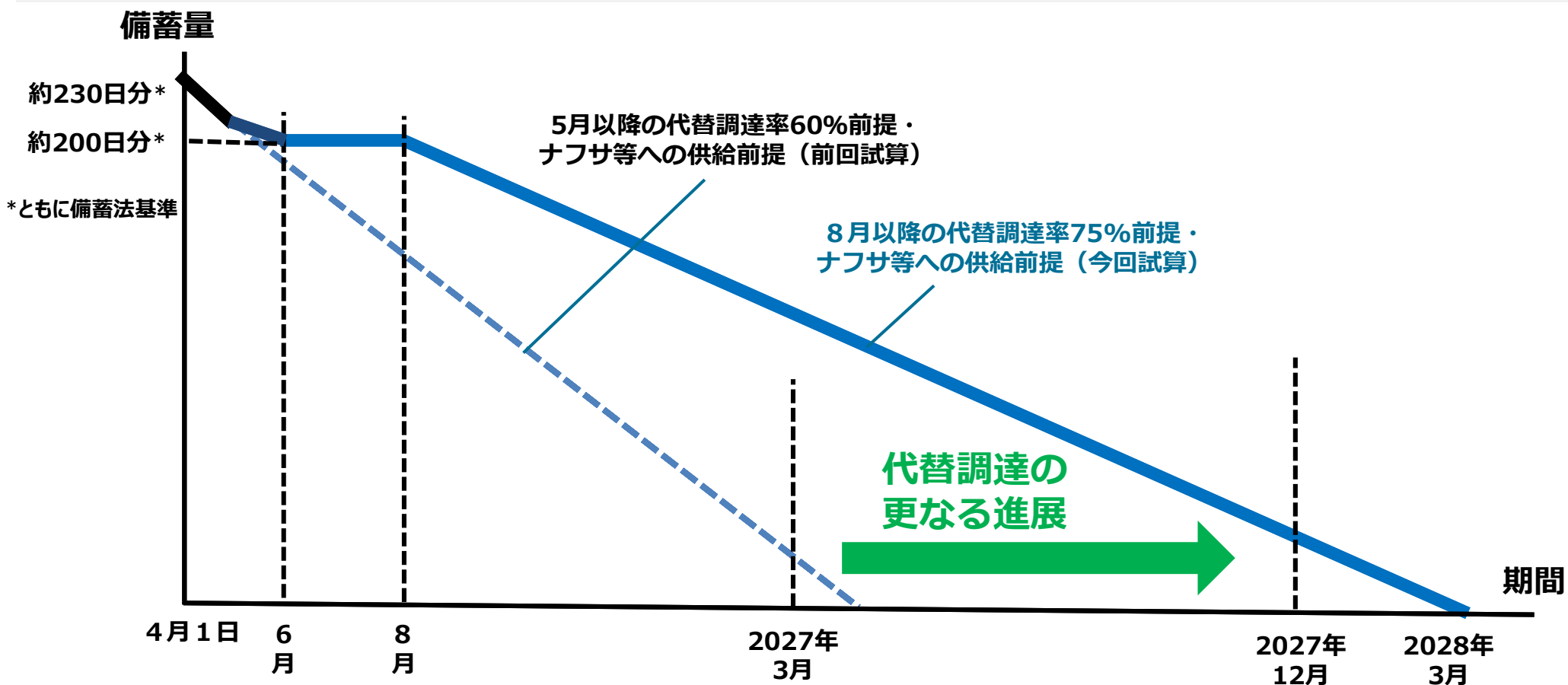
注1：4月、5月の実績値は製油所に到達した原油量の総量であり、各種統計との誤差が生じることがある。

注2：6月8日時点。原油タンカーの配船・運航状況等により、遅れが生じれば日本着が後ろ倒しになるため、月ごとの調達量には変動が生じ得る。

注3：上記表示以外の詳細な国名やルートについては、民間企業の契約に関する事柄であることに加え、安全対策上の理由から非公表としている。

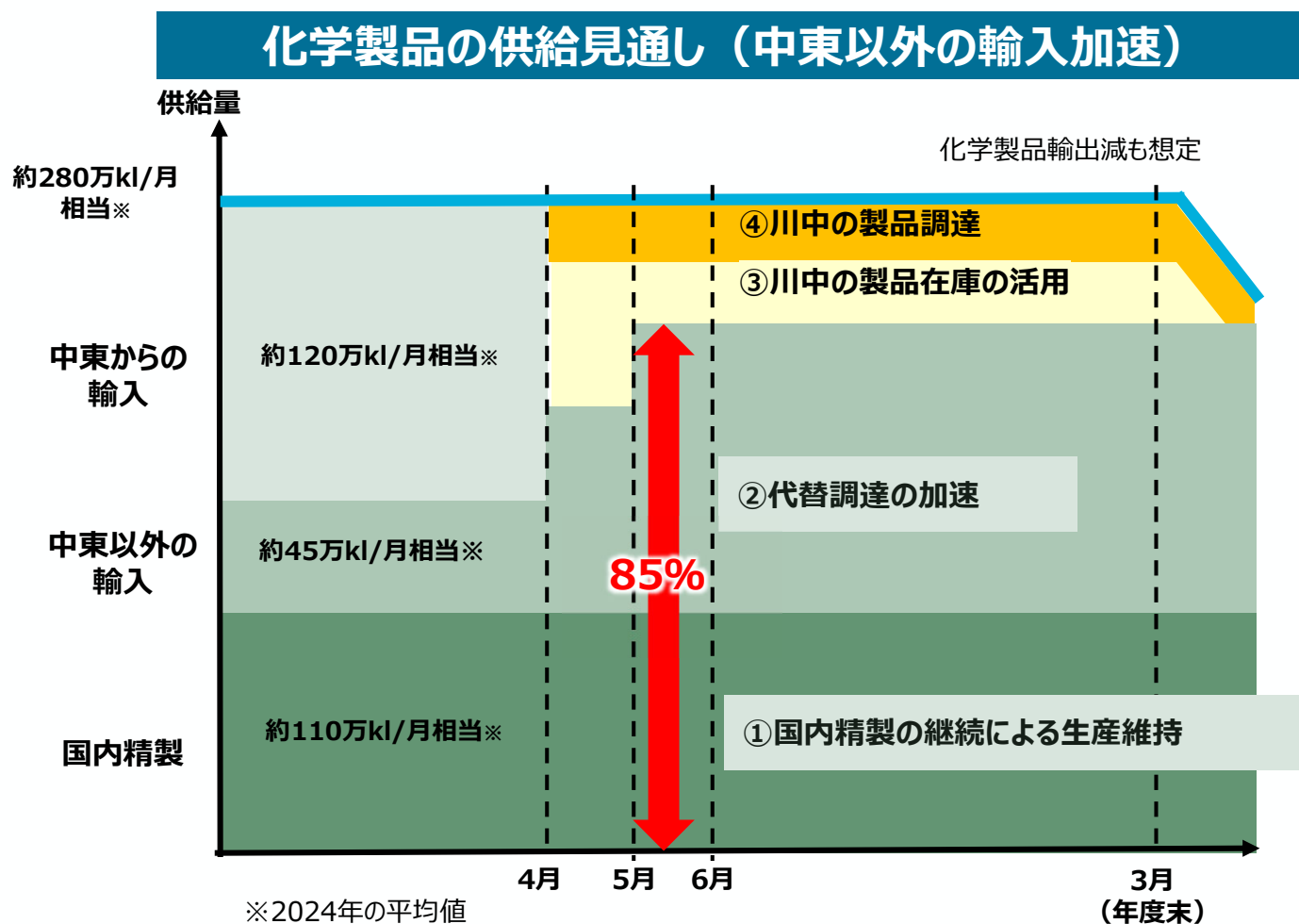
# 石油の需給見通し

- 代替調達の進展によって、5月の1ヶ月間における備蓄量の減少分は5日分に留まっており、現時点で約200日分の備蓄水準を維持。7月に、前年平月比で約10割の調達への回復に目途が立つ中、保守的に、8月以降はその調達の4分の1が確保できなくなると仮定した場合、現時点で保有する国家備蓄・民間備蓄等の備蓄量は、その調達減少分の約20ヶ月分に相当。こうした場合（前年平月比75%の調達が継続するケース）でも、現時点で保有する備蓄量を活用することで、来年（2027年）の年末を越え、来年度末まで石油の安定供給が可能。



# ナフサ由来の化学製品の需給見通し

- 国内でのナフサの精製を継続していることに加え、代替調達で、従来の85%の水準まで回復。
- 川中の製品輸入が大幅に進み、4月の川中在庫の活用は、0.1ヶ月分（1.8→1.7カ月）に抑えられた。
- このため、ナフサ由来の化学製品を含む石油製品は、「年度を越えて」、供給継続が可能となる見込み。

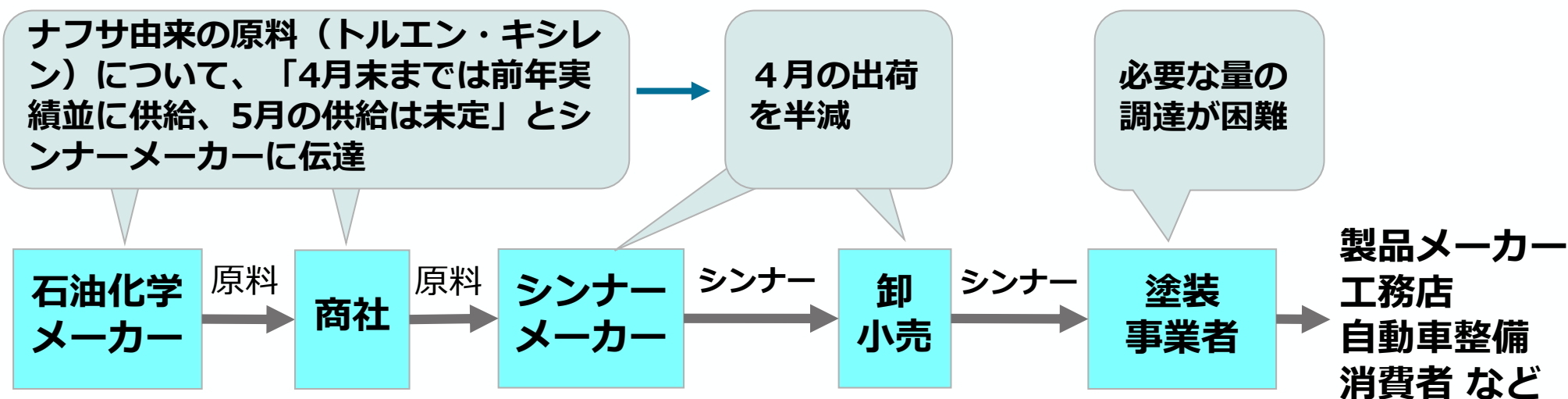


# 塗料・シンナーの供給の目詰まりへの対応について

## これまでの取組

- **【供給側】** 3/30（月）、4/3（金）、4/13（月）経産省から溶剤業界に安定供給要請  
(流通の偏り是正/需要家への公平供給)
- **【需要側】** 4/28（火）、経産省から日本DIY・ホームセンター協会に対し、ホームセンターにおいて、
  - ①通常量での購入の協力、
  - ②情報提供窓口の紹介を記載した店頭掲示（貼り紙）を要請。
- **【需要側】** 5月中旬～下旬、900団体に対する「通常通り」の供給・発注を要請
- **【需要側】** 5月下旬、地方整備局・経産局等による下流の実態把握・プッシュ型支援  
(一人親方を含む工務店、全国建設労働組合総連合等への働きかけ)
- **【供給側】** 5/27（水）-29（金）ナフサ関連の8つの業界団体から、  
4月まで前年と同水準またはそれ以上の供給実績があり、今後も継続的に供給できる見通しである旨を発信
- **【供給側】** 6/3（水）からシンナーの原料のトルエンを最大で例年の1.8倍供給に増産。

## シンナーのサプライチェーン（国内有力メーカーの例）



- ➡ サプライチェーン間で原料の供給見通しを共有することで解消済み。
- ➡ この事例のようにシンナーの供給量を回復するため以下の要請を実施。

### <経済産業省からシンナー等関係事業者に対する要請(4月13日) (抜粋)>

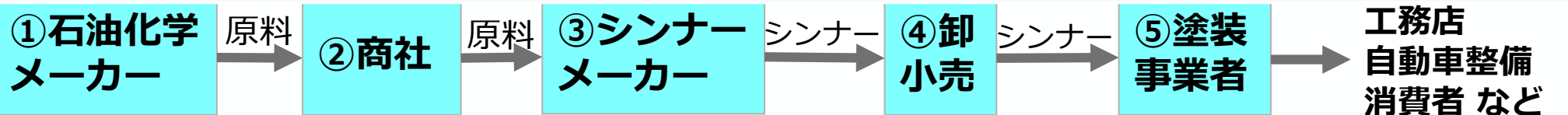
川上側の石油化学企業において、シンナー原料となるトルエンやキシレンについて、国内向け供給は前年実績並に継続されている状況にあります。

原料調達に課題が生じている場合には、それ自体を理由に即座に生産を抑制するのではなく、速やかに経済産業省又は関係事業者にご相談頂くようお願いいたします。

個別具体的な調査の上、当該シンナー製造事業者に対して原料が確実に行き届くよう、サプライチェーン上の調整を行ってまいります。

# 塗料・シンナーの目詰まりの主な類型

- これまでの供給の偏りや流通の目詰まりは、主に以下3つに類型化。

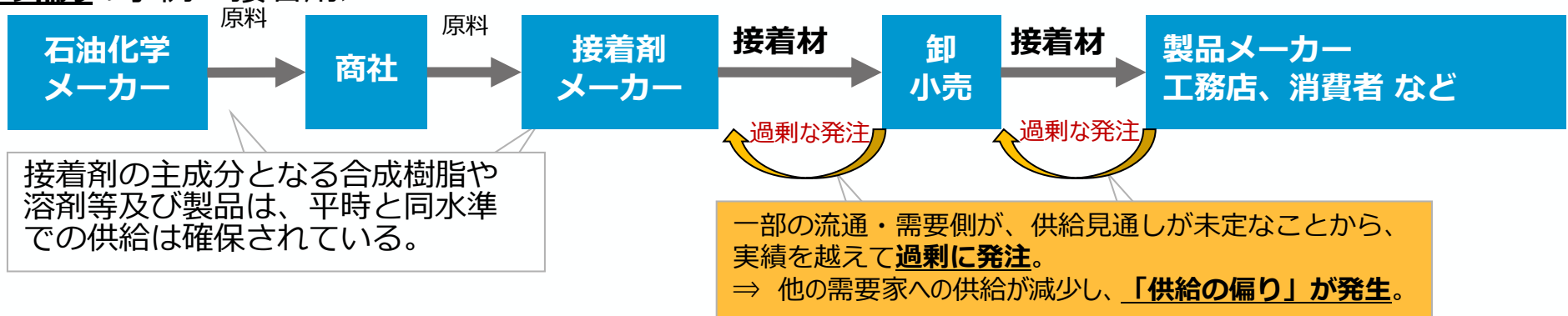


類型	事例	解消策
【1】 原料・製品の供給見通しが共有されず、供給量を抑制 (①～③)	石油化学メーカー(①)が、「4月は前年並み、5月以降の供給量未定」と供給先に伝えたところ、 <u>商社(②)やシンナーメーカー(③)が、万が一の供給制限に備えて、4月分から供給量を半減させた。</u>	経産省から、商社やシンナーメーカーに対し、川上企業が供給継続する見通しを伝え、目詰まり解消。
【2】 事業者間でのタイムリーなコミュニケーションが不足 (③～④)	3月半ばに、 <u>シンナーメーカーA社(③)が4月以降のシンナー供給制限を卸小売B社(④)に通知。</u> 4月半ばには、 <u>シンナー供給量が通常通りに回復したが、A社はB社に連絡せず、またB社からA社へも確認しないまま</u> だったため、B社への供給状況が改善せず。	経産省から、卸小売りB社に対し、原料・シンナーの供給改善状況を伝え、B社がシンナーメーカーA社に連絡をとり、目詰まり解消。
【3】 川下が実績以上の発注をすることで出荷が混乱 (③～⑤)	建設事業者から大規模修繕工事の一部を受託した <u>塗装事業者C社(⑤)は、通常2週間毎にシンナーを調達しているが、不足を心配し、卸小売りD社(④)に全工事期間1.5ヶ月分のシンナーを一括発注。</u> D社を含め大量受注を受けた <u>シンナーメーカーE社(③)が出荷調整に時間を要し、出荷遅延が発生。</u>	経産省から、塗装事業者C社に、通常通りの頻度・量での発注を要請。C社が卸小売D社に通常通りの頻度・量を発注し、目詰まり解消。

# 「流通の目詰まり」と「供給の偏り」の発生を防止するための協力のお願い

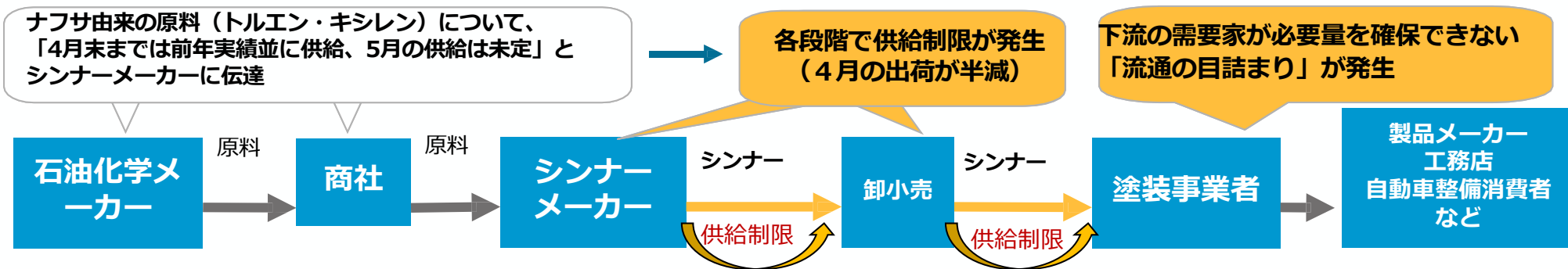
- 原油や石油製品について「日本全体として必要となる量」は確保できている一方、一部で生じている「供給の偏り」や「流通の目詰まり」に対して、関係省庁に設置した情報提供窓口を通じてサプライチェーンの情報を集約し、一つ一つ丁寧に解消してきている。
- 日本全体の供給状況をサプライチェーンの関係者に共有するとともに、過剰な発注や各段階での供給制限を行わないよう周知している。

## ＜供給の偏りの事例：接着剤＞



⇒ **前年同月同量を基本とした通常量の調達を行って頂くよう周知**

## ＜流通の目詰まりの事例：シンナー＞



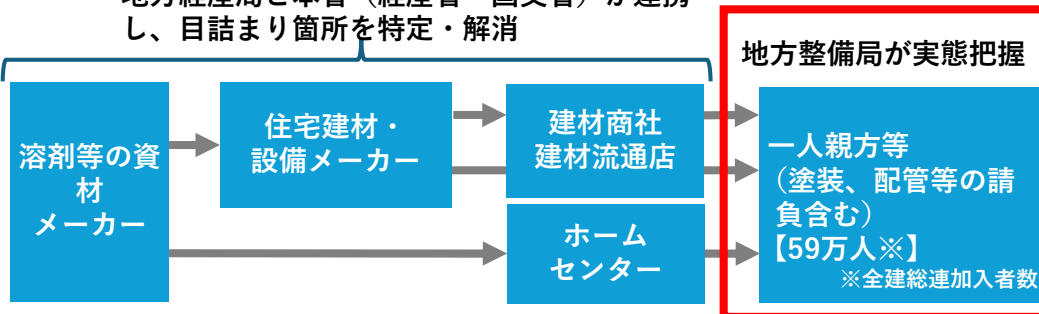
⇒ **原料調達の課題を理由に供給制限せず、まずは経産省に相談するよう周知**

## 川中～川下の流通過程における「目詰まり対策」の強化

- 取引先との交渉力が強くない小規模事業者が多い事業者について、地方整備局・運輸局・農政局が中心となって、各地の事業者への供給実態を把握し、地方経産局と連携の上、目詰まり箇所の特定とその解消を図っている。
- 工務店（一人親方等）による建設資材の調達状況、自動車整備工場（バス・トラック等の運送会社を含む）に対する潤滑油・アドブルーの供給状況、パン・菓子等販売店に対する包装資材の供給状況について、取組が進行中。今般、下記を新たに重点取組の対象に追加。
- 「タクシー」に対する「潤滑油・アドブルー」の供給状況 [地方運輸局]
- 「園芸農家」に対する「プラスチック製農業資材」の供給状況 [地方農政局]
- 「中小製造業」に対する「石油製品等」の供給状況 [地方経産局]

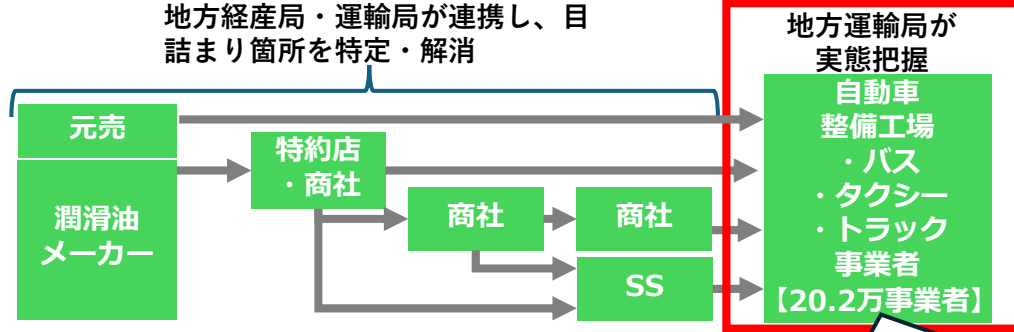
### 建設資材（シンナー等）の流通過程

地方経産局と本省（経産省・国交省）が連携し、目詰まり箇所を特定・解消



### 潤滑油（自動車整備工場・バス・タクシー・トラック）の流通過程

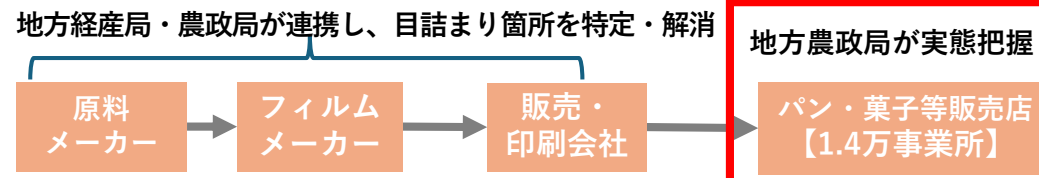
地方経産局・運輸局が連携し、目詰まり箇所を特定・解消



タクシー（4.2万事業者）を新たな重点取組対象に追加

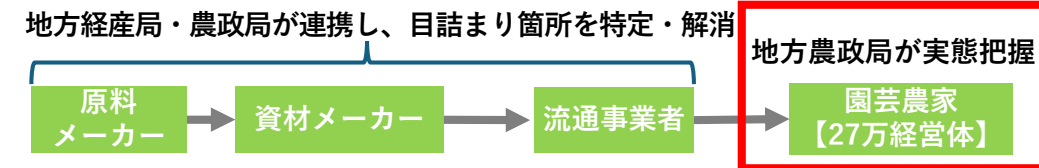
### パン・菓子等の包装資材の流通過程

地方経産局・農政局が連携し、目詰まり箇所を特定・解消



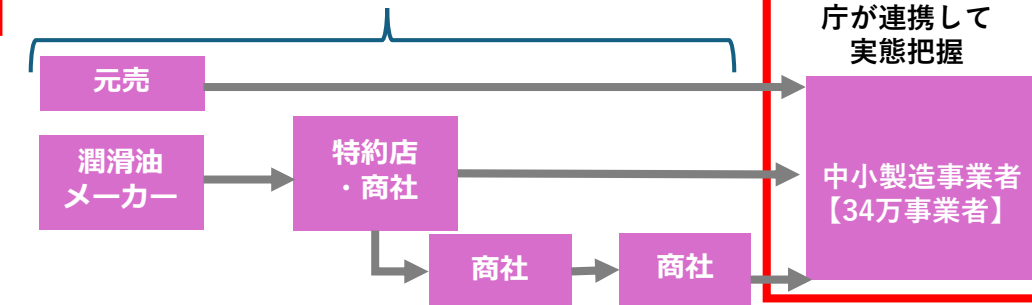
### 園芸農家が使用するプラスチック製資材の流通過程 【新たな重点取組対象】

地方経産局・農政局が連携し、目詰まり箇所を特定・解消



### 石油製品等（中小製造業）の流通過程 【新たな重点取組対象】

地方経産局が目詰まり箇所を特定・解消



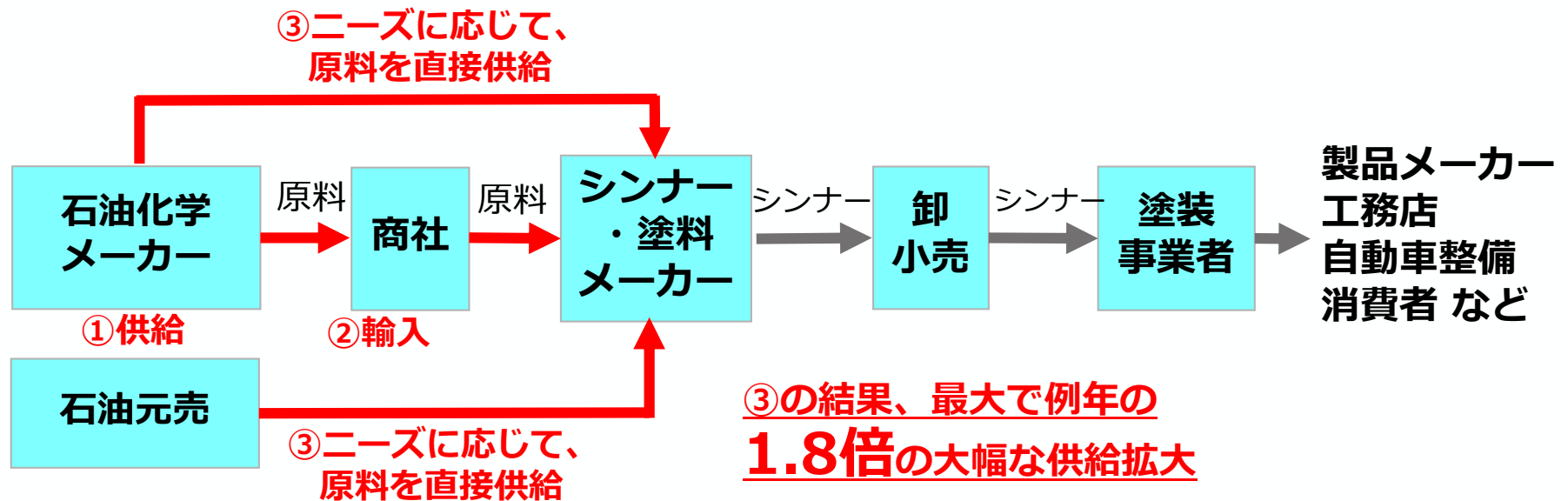
# 化学製品の安定供給の見通し

- 川上の石油化学工業協会に加え、川中・川下の塗料、シンナー、塩ビ管、断熱材の産業界は、  
①足下の供給量は安定・増加し、②**今後も継続的に供給できる見通し**であることを発信。

主な製品	業界団体	足下の供給状況	今後の供給見通し
ポリエチレン ポリスチレン 等	①石油化学工業協会 (5/27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3、4月：全体として供給は維持</li> <li>●在庫：国内需要の3ヶ月以上の水準を維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中東以外からの輸入ナフサは5月は大幅に増加見込み</li> <li>●<b>5月以降も平年並みの供給が見込まれ、引き続き需要を満たすべく安定供給を維持</b></li> </ul>
塗料、 シンナー	②日本塗料工業会 (5/29)	(出荷前年同月比) <ul style="list-style-type: none"> <li>●3月：塗料111%、シンナー115%</li> <li>●4月：塗料115%(シンナー6/12公表予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>5月以降以降も引き続き平年並み以上の供給を継続</b></li> </ul>
印刷インキ	③印刷インキ工業会 (5/29)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3、4月：出荷量は前年同月比105%、106%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>5月以降においても供給に問題は生じておらず、平年並みの安定供給が可能と見込む</b></li> </ul>
塩ビ管、 塩ビ継手	④塩化ビニル管・継手協会 (5/29)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3、4月：前年同月を上回る生産量、出荷量を達成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>5月以降、平年並の生産、出荷を維持できる見込み</b></li> </ul>
断熱材	⑤ウレタンフォーム工業会 (5/28)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体では通常時と同様に生産・出荷を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>今後も前年同月並の生産・供給量を維持できる状況</b></li> </ul>
	⑥フェノールフォーム協会 (5/28)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3、4月：前年同月以上の供給を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>5月以降も平年並みの生産ができる見通しが立つ</b></li> </ul>
	⑦押出発泡ポリスチレン工業会 (5/29)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3、4月：前年同月同レベルの供給を維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>5月以降も、前年同月同レベルの安定供給が可能となる見込み</b></li> </ul>
ユニットバス	⑧キッチン・バス工業会 (5/29)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3、4月：出荷台数は、前年同月比102%、99%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>通常時の発注を前提に安定的な製品供給の維持が可能となる見込み</b></li> </ul>

## トルエン等の大幅増産：シンナー・塗料の目詰まり解消対策

- ナフサ由来の化学製品については日本全体として必要な量は足りているものの、依然として、塗料・シンナー等の供給の偏り・流通の目詰まりが生じていることを踏まえ、今般、これらの原料となるトルエン等について、シンナー・塗料メーカーからの要請に応じて、最大で例年の1.8倍の大幅な供給拡大を実施する。
  - これにより、国内の平時の需要を大幅に上回る塗料・シンナーが今後大量に供給されることが見込まれるため、地方も含めた工務店等に塗料・シンナーが行き渡ることを狙う。
- ①石油化学メーカーによる供給、②商社による輸入に加え、③石油元売が原油を精製する段階で得られるトルエン等を、直接シンナーメーカー向けに供給するルート強化。



# 目詰まり・偏り解消協力団体・企業名の公表について

「塗料・シンナー」について、先週から最大1.8倍の供給増の取組を始めた所であり、こうした中で、川中・川下の各段階で目詰まり・偏り解消等の取組を進めている団体名・企業名を経産省HPで公表する。

川上の供給増の成果が皆様に確実に届くよう、川中・川下で前向きに取り組む企業を政府が発信することで、目詰まり・偏り解消の取組を今まで以上に業界横断的に広げていく。

## 〈公表業界団体・企業案〉

下記のような取組に賛同する業界団体・企業を想定

- 例年並みの調達・供給に取り組む等、適切な調達・供給に努める
- 川上企業・川下企業との丁寧なコミュニケーションをはじめ、関係者との丁寧なコミュニケーションや正確な情報発信に努める
- 業界団体などを通じ、他社との在庫融通に取り組む
- その他、最終需要家に必要な製品が届くよう、サプライチェーン全体の供給の偏りや流通の目詰まりの解消に取り組む 等

※まず「塗料・シンナー」から進め、その後、対象物資の拡大を検討していく。

## (参考) 主な石油関連製品の供給状況 (3月)

- 2026年3月のナフサ供給量は、輸入の減少やプラントの定期修理が集中的に行われたこともあり、前年同月比減 (221万kl, ▲25%) だったものの、4月以降回復する見通し。
- 他方、川下製品のシンナーや塗料、印刷インキ、コーキング材、塩ビ管、農業用フィルム等は、**前年実績並もしくは前年実績以上の供給を維持**。
- 潤滑油については、**供給不安を抱く流通事業者や需要家が大量注文**。前年を大きく上回る量を出荷。

	国内出荷量	前年同月比	生産量	前年同月比	輸入量	前年同月比	主な原材料
シンナー	33,701 t	116%	33,709 t	113%	2,289 t ※1	131%	トルエン キシレン
塗料	73,129 t	111%	90,930 t	103%	2,609 t	94%	樹脂・溶剤
印刷インキ	20,107 t	104%	27,294 t	103%	234 t	124%	樹脂・溶剤
コーキング材	20,232 kl 戸建用:5,453kl ※2	99% 戸建用:105%	17,562kl 戸建用:5,319kl ※2	97% 戸建用:109%	616 t ※3	152%	シリコーン ポリウレタン
塩ビ管	17,796 t	116%	17,661 t	115%	72 t ※4	101%	塩化ビニル樹脂
農業用フィルム (マルチフィルム含む)	7,373 t ※6	98%	5,190 t	87%	16,933 t ※5	95%	ポリエチレン
潤滑油	180,997 kl	142%	178,016 kl	99%	19,040 kl	144%	ベースオイル

(資料) ナフサ：石油統計、シンナー：生産動態統計、塗料：日本塗料工業会統計より経済産業省推計、印刷インキ：生産動態統計、コーキング材：日本シーリング材工業会統計、塩ビ管：塩化ビニル管・継手協会統計、農業用フィルム：生産動態統計、潤滑油：資源・エネルギー統計（輸入量については、潤滑油を除き貿易統計）

(注) ※1：ペイント用ワニス、ワニス用の調整除去剤を含む ※2：1～3月の3ヶ月 ※3：ガラス用・接ぎ木用のパテ、レジセメント等を含む  
※4：塩ビ重合体のホース・継手等を含む ※5：エチレン重合体の板、シート、フィルム、はく等を含む ※6：輸出を含む